

あだたら

第419号
発行所 山部町 富山県 立山町
編集 山部町 富山県 立山町

●編集部連絡先
二本松市 内1-5-15
0243(22) 4245
Fax可 渡辺 正



祝 あだたら山の会 創立 65年
富山県 立山 令和5年9月25日

2023年9月24日(日)、立山・室堂、15時46分
(□□□□さん撮影)

六十五周年記念登山

会長・□□□□

今回、六十五周年記念登山企画を頼まれた時にまさか自分が、と思ったのが最初の印象でした。いままで少数の山行計画をした事はあるが基本は数人の行き当たりばったりの計画が多く、都度都度で計画を変更する山行が多いので今回のような二十二名の計画は未経験で大変な事になってしまった。との思いと果たしてみんなを満足させる計画が立てられるか不安でしようがなかったです。

幸いにも職場の協力などあり情報などは比較的簡単に集められました。ところが天気だけはどうにもならず二週間前天気予報で雨の時はどうするか?ギリギリまで考えていました。参加者みんなの日頃の行いが良かったのか、近づくにつれて晴れ予報に!、結果として自分でも初めての立山が最高の天気

で登ることができ、別山の稜線歩きはなんぼでも歩ける気分と終わりが近づく寂しさとがまじりあい何とも複雑な気分。しかし、全員で登頂できケガ人もいなく、今まで企画した山行として一番の達成感がありました。

正直、また企画したいかと言われたら悩むとこです。がまた多くの会員でピークを目指す思いを共有するという事を味わいたいと感じました。

拙い山行で迷惑をかけた事もあったと思いますが誰一人文句など言わずに協力して頂き感謝しかありません。

このメンバーだからこそ登りたいと思えるのであり、またこのメンバーだからこそ成功できたと思えます。今後の会運営にも何卒、御協力をお願い致します。

特別コース

□□□□(会員外)

あだたら山の会の皆様、創立六十五周年おめでとうございます。また、この度は記念山行に参加させていただきましてありがとうございます。

ございます。私の場合もっばら県内と隣の山や関東方面の出張ついでにできるお手軽登山が中心ですので、三〇〇m級の北アルプス

は滅多にない経験です。立山三峰(雄山、大汝山、富士ノ折立)+別山の縦走はまさに天空を歩く気分でした。天候にも恵まれ目前の剣岳、眼下の黒部ダム、遠くは富士山と数々の名峰そして富山湾と能登半島まで三六〇度一望できるような日は滅多にないという話です。帰宅してからわかったのですが、真砂岳手前で見

た雪渓は二〇一八年に学術的に氷河であると認定されたものだそうです。ほんとうに沢山の絶景を目にすることができました。また雷鳥に出会えたり雄山神社本社の手書き御朱印を頂けたりと楽しい三日間でした。また別の機会にも一緒にできると嬉しいです。以上です。



「剣岳」、2023年9月25日、13時22分 (□□□□さん撮影)



□□□□さん撮影

中級コース

□□□□ (会員・家族)

八時、室堂山荘出発。気持ちの良い晴天。準備体操をして行動を開始した。一ノ越山荘までは石畳の道だったので、比較的楽に歩くことができた。

八時二十五分、休憩一回目、標高が高いためか、少し息切れがした。水を飲んで五分の休憩。

八時三十八分、八時五十五分、九時八分と全部でこまめに四回の休憩をとり、

九時二十二分に一ノ越山荘に到着した。有料のトイレがあった。まわりはとても見晴らしの良い景色で、遠くに富士山を見る事が出来た。

九時三十五分、一ノ越山荘出発、ここからは、岩がゴロゴロとした急登となった。一步一步ゆっくりと登っていき、すぐに息が切れてしまう。一ノ越山荘までは、全員揃って休憩を取

っていたが、この先は休憩を取るスペースが無いため、それぞれ自分のペースで登っていく。三ノ越まで来たら、広場になっていてホッと一息つけた。全身黄色のお兄さんが、パンパンに膨れ上がった黄色のポテトチップスをザックのポケットにつめて登っていた。あんな風にファッションも楽しみながら登っている人がいると見ているこちらも楽しくなる。

十時四十八分、雄山到着（第一陣）それぞれのペースで登ってきたので、班が二つに分かれてしまった。第一陣が到着した三十分後に第二陣が到着した。雄山では、御朱印を購入したり、弁当を食べたり、写真を撮ったりと、山頂をゆっくり満喫することができた。たくさんの人たちが休憩している、山の上だとは思えないほどの人口密度だ。神社で、立山限定のモンベルTシャツを販売していたようだがすでに売り切れになっており残念に思った。売っていたら間違いなく購入していた。第二陣が到着する前に弁当を食べてしまっていたので、大汝山まで散歩に出た。

十二時二十五分、雄山出発、全員で下山開始。登るときも大変だったが、下るときはまた別な大変さがある。登るときとは違った筋肉を使う。小石があるところ

は滑らないように細心の注意を払って降りて行った。十三時二十四分、一ノ越山荘到着（第一陣到着）神経を使って下ってきたので、緊張がドッとほどけた感じがした。ここから先は、石畳の道だと思っただけで気も楽になった。第一陣の三十分後に第二陣も到着した。



□□□□さん撮影

特別コース

□□□□ (会員外)

ずっと行きたかった立山！室堂までのバスの中はドキドキワクワクでした。山荘の目の前には三〇〇〇m級の山々、雲海の中に沈む夕日、見るものすべてが別世界。雄山では、富士山も見え、雷鳥にも出見え、御朱印ももらえて、大感激？！目的達成。別山では剣岳を間近に見ながら、お弁当を食べた贅沢な時間。夢のような三日間でした。皆さま楽しい時間をありがとうございました。

で、見る景色、見る景色、すべてが最高の景色だった。青空と遠くまで見える山並みと下界の紅葉。行って見た人には味わえない景色。今回、登ることができて本当に良かった。また一緒に登ってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱい。



室堂山荘 (□□□□さん撮影)



室堂山荘の手拭い (□□□□さん撮影)



雷鳥 (□□□□さん撮影)



□□□□さん撮影

九月十八日、敬老の日

磐梯山での敬老会

報告 □□□□



今年の敬老の日は、天気も良く、登山には最高の日である。休日とあって第一駐車場は満車、第二駐車場も半分は入っていた。九時入山届けを出し入山する。五人の平均年齢七十七才、ブナ林の中マイペースで登り、中の湯温泉(旧)で休憩する。急な登りの連続、「道あけて」の声で、後続の登山者を前に出しながら



市民体育祭開会式、24日、城山体育館

老会」である。妻は少し食しただけで、草の上で横になり休んでいる。楽しい一時を過ごし、一時下山する。妻も途中から話をする様になり、回復して来た様だ。登山口三時半に下山。これからの楽しみは風呂入りだ。目的地に付くと工事中で休み、残念。何年か前檜原で風呂入った事があると聞いた事を思い出して、散歩中のオバさんに尋ねると民宿で入れてくれる事を聞き、風呂入れてくれる民宿探し、一軒目は開いていなかったが、いくら声を掛けても出てこない。諦めて、二軒目は玄関が開かない。道ばたの看板を頼りに探しても、それらしき物が見あたらず、あきらめようとした時、野菜直売場の垣根に温泉マークを見つけ、少し戻り直売場の人に聞くと、〇〇ペンションで風呂入りしたいというを入れてくれるとのこと。早速ペンションに行き、今日の疲れと汗を流し、帰路に付く。六時三十分帰松。皆さんを送り、七時帰宅。一人で冷たいビールで乾杯。八十三才の敬老の日は終わった。

安達太良山登山道

工事で通行止め

十月三日(火)〜十一月二十二日(水)

終日通行止め

○土日休日は 通行でき

▼湯川溪谷、馬返し〜くろがね小屋

▼勢至平分岐〜くろがね小屋



「安達太良山通行止め」で検索すると出てくる、福島県HP

思われる)ので奮ってご参加下さい。◆今年の夏は暑かった、しかし室内では扇風機で涼ぐ事ができた。それでも表に出たときの強烈な「日射し」には耐えられず、歩いて買物などに出るときは「笠」を被った。主に「農作業」用に売られているらしいが、風が通るので、汗掻く事が少なく、歩くにも最適だ。それでも額の廻り汗掻くので、平らに作られた「陣笠」が良いかもしれない、考えよう。

◆奥岳のロープウェイ駅にある登山者心得、「ハイヒール・サンダル等での入山はやめましょう」。ロープウェイが出来た当時、バスガイドさん達が「ハイヒール」で薬師岳山頂まで行っていたという。ロープウェイが止まったとき、ハイヒールで五葉松平を下がったという「都市伝説」があります。見た事はありません。◆今日は四日、会報何とかで上がった。明日の例会に間に合った。



編集後記

四一九号

◆一日(日)の僧悟台登山道整備、朝から天候不良(小雨)で急な延期になりました。本来九月三日(日)の予定が、トレイルランと重な

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。